



第41回
日本の近代教育の先駆け
「沼津兵学校」

沼津兵学校記念碑 (大手町の城岡神社境内)

沼津兵学校は、明治維新に伴い駿府に移った徳川家が、明治元年に旧沼津城(現在の大手町付近)に開設した、陸軍士官を養成する学校でした。

学校長に西周(にしゅう)が就任し、幕末期に江戸幕府が進めた洋学政策の遺産が継承されました。沼津兵学校は最先端の教育が評判となり、他藩や明治新政府からも注目され、全国から留学してくる学生も多かったです。

その後、廃藩置県や明治新政府への移管を経て明治5年に廃校となりましたが、この間に多くの優秀な人材を輩出し、日本の近代化を支える役割を果たしたのです。

一方、沼津兵学校と同時に開設された附属小学校も、教育内容や制度の点で当時の最先端の教育を行っており、日本で最初の近代的小学校と評価されています。現在は市立第一小学校として百四十年あまりの歴史を受け継いでいます。

沼津兵学校について学ぶなら
明治史料館へ！

沼津兵学校に関する展示や資料が充実！

- 開館時間 9時～16時30分
- 休館日 月曜日(祝日を除く)、毎月最終の平日、祝日の翌日、年末年始
- ところ 西熊堂 372-1
- 観覧料 大人200円、小・中学生100円
(市内の小・中学生は無料)

明治史料館

☎ 055-923-3335



初代学校長の西周
(個人蔵・明治史料館保管)

豆知識 あまねガードの由来

今のイーラde西側に西周の家があったことに由来しています！

